

MXCIC -- Microflex Complete通訳コンソール (MXCIC)

製品安全情報



安全のための重要注意事項

1. この説明書をお読みください。
2. この説明書を保管しておいてください。
3. 警告事項すべてに留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除は乾いた布でから拭きするだけにしてください。
7. 通風口を塞がないようにしてください。十分な換気ができるよう余裕を持たせ、メーカーの指示に従って設置してください。
8. 火、ラジエーターや暖房送風口、ストーブ、その他、熱を発生する機器 (アンプなど) の近くには設置しないでください。火が出る物を製品の上に置かないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全のために用いられていますので、正しく接続してください。有極プラグは、2本のブレードのうち一方が幅広になっています。アース付きプラグは2本のブレードの他に、3本目のアース端子がついています。幅広のブレードや3本目の棒は、安全のためのものです。これらのプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、コンセントを交換してもらってください。
10. 電源コードは特にプラグ差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、引っかかって抜けたり挟まれたりしないように保護してください。
11. アタッチメントや付属品は必ずメーカー指定のものをご利用ください。
12. カートやスタンド、三脚、ブラケット、テーブル等はメーカー指定のものか、この装置用に販売されているものを必ずご利用ください。カートに装置を載せて動かす際はつかけて怪我をしないよう注意してください。



13. 雷を伴う嵐の際、または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。
14. 整備の際は、資格のある整備担当者に必ずご相談ください。電源コードやプラグの損傷、液体や異物が装置内に入り込んだ場合、装置が雨や湿気に曝された場合、正常に作動しない場合、装置を落とした場合など、装置が何らかの状態に損傷した場合は、整備が必要です。
15. 水滴や水しぶきに曝さないでください。液体の入った花瓶などを装置の上に置かないでください。
16. MAINSプラグまたはアプライアンスカップラーが使用できる状態にしておいてください。
17. 装置の空気伝播音は70 dB (A) を超えません。
18. クラスI構造の装置は保護接地接続のある主電源の壁コンセントに接続してください。



19. 火災や感電の危険を避けるため、本機器は雨や湿気のある場所にさらさないでください。
20. 本製品の改造は試みないでください。けがや製品の故障の原因となる可能性があります。
21. 本製品は指定された動作温度範囲内で使用してください。

	この記号は、この装置内に感電の危険性のある高電圧があることを示します。
	この記号は、重要な操作・メンテナンスの説明が装置添付の文書に記載されていることを示します。

警告: この装置内には、生命の危険を伴う高電圧が存在します。ユーザーは内部の部品を保守できません。保守の際は、資格のある保守担当者にご相談ください。使用電圧の工場出荷時設定が変更された場合は、安全保証は適用されません。

安全にお使いいただくために

誤った使用により引き起こされる可能性のある結果は、危険の切迫度および損害の大きさに応じて、「警告」と「注意」のいずれかとして示されています。

	警告: 警告を無視すると、誤った使用により重傷または死亡が引き起こされる可能性があります。
	注意: 注意を無視すると、誤った使用により怪我や物的損害が引き起こされる可能性があります。

警告

極度の高音で音声を聴くと、聴覚を恒久的に損なうことがあります。できるだけ小さな音量で使用してください。極度に高い音圧レベルに過度にさらされると耳を傷め、恒久的な騒音性難聴 (NIHL) になることがあります。聴覚を損なわないようにするため、各音圧レベルに耐えられる最長限度時間の米国労働安全衛生局 (OSHA) ガイドラインを下記に記載しますのでご参照ください。

90 dB SPL 8時間	95 dB SPL 4時間	100 dB SPL 2時間	105 dB SPL 1時間
110 dB SPL 30分	115 dB SPL 15分	120 dB SPL 障害が発生する恐れがあるため避けること	

警告: 本製品には、ガンや先天性欠損症をはじめとする生殖機能の異常を引き起こすことがカリフォルニア州当局により明らかにされている化学物質が含まれています。

注: 現地の規制要件 (UL、CSA、VDE、CCC、INMETROなど) を満たす、代理店が認可した電源のみを使用してください。

1. 經審驗合格之射頻電信終端設備，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
2. 射頻電信終端設備之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。所謂合法通信，係指依電信法規定作業之無線電信。
3. 輸入、製造射頻電信終端設備之公司、商號或其使用者違反本辦法規定，擅自使用或變更無線電頻率、電功率者，除依電信法規定處罰外，國家通訊傳播委員會並得撤銷其審驗合格證明。
4. 減少電磁波影響，請妥適使用

ノート

MXCICはMicroflex® Complete会議システムにおいてプロフェッショナルな通訳を提供するために必要な機能をすべて提供します。これは会議の同時通訳用の、ポータブルかつ複数チャンネルに対応するコンソールです。複数のMXCICコンソールを接続することにより、最大で31の通訳チャンネルを同時に使用できます。

コンソールは、各通訳者の音声レベルにかかわらず、一貫した高品質の音声性能を実現します。デジタル設計により、周囲の雑音、音の歪みやクロストークをほぼ完全に排除します。会議参加者は会議ユニットでチャンネルを選択するだけで、ヘッドホンを使用して各自の言語で会議の進行を把握できます。

MXCICは、DCS-LANチェーン内の任意のユニットに接続し、1本のCat5eケーブルで電力、音声、および制御データを伝送することができます。通訳チャンネルはフロアチャンネルと並行して伝送されるため、チャンネルセレクターを用いて任意の会議ユニットでアクセス可能です。統合されたラウドスピーカーにより、通訳者が運用中に議場の音声を聞くことができます。

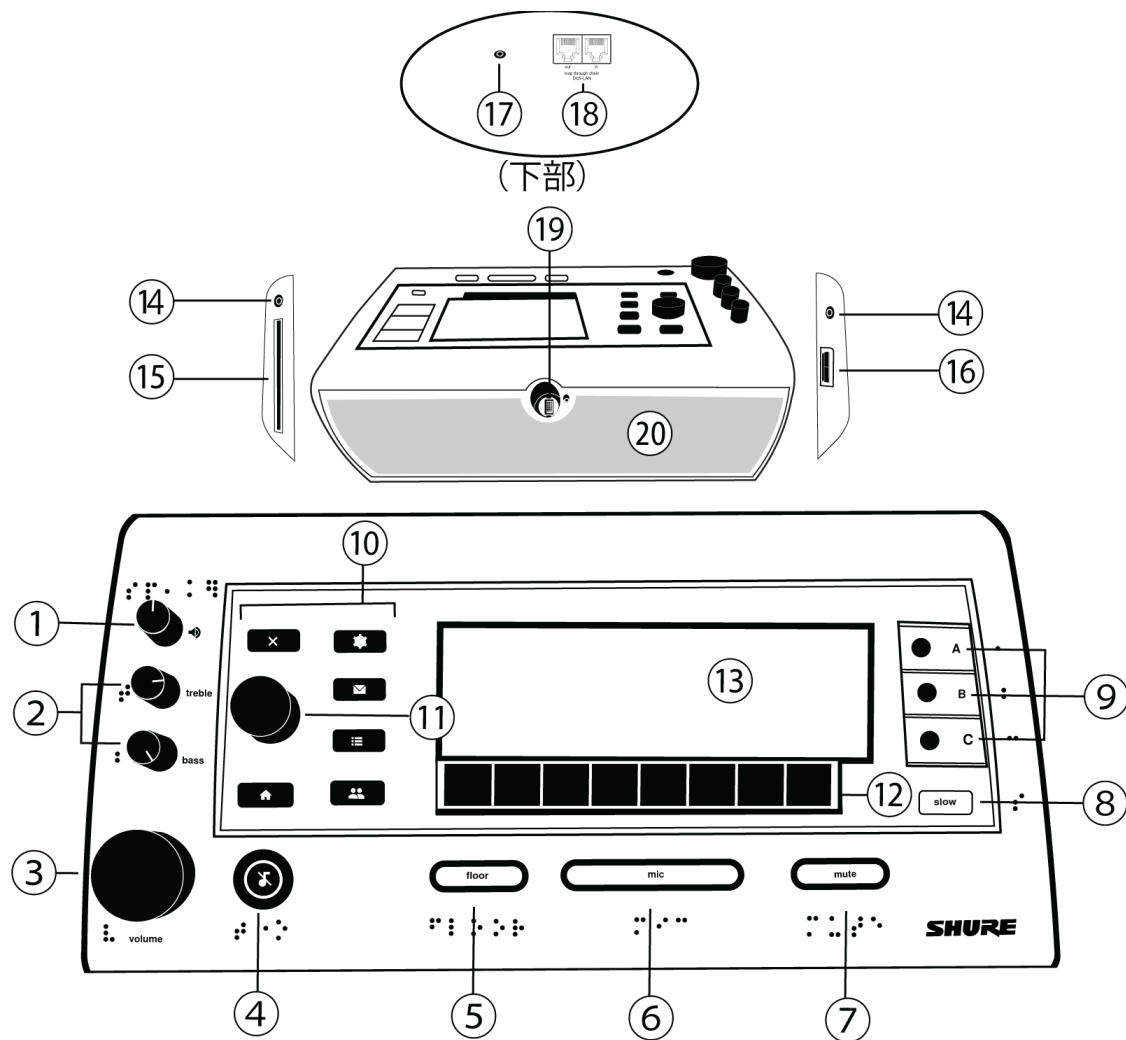
モニタリングに使用する言語と、通訳者が送信する言語を簡単に識別できる大型のバックライト付きディスプレイを備えています。あらかじめ選択されている各言語のリレーレベルが表示され、モニタリングしている言語が発言者自身のものか、ダイレクトに通訳されたものか、あるいは2つのリレーによる通訳であることを示します。

特長







- 完全デジタル式の音声伝送
- データ更新とケーブル冗長性を内蔵したDCS-LAN接続
- システムごとに最大150の通訳コンソール
- 最大31の通訳チャンネルをサポート
- 3つの発信チャンネル
- 8つの着信言語チャンネル+フロアオーディオ
- パーソナライズされた設定の保存/呼び出しのためのNFCスロットおよびUSBポート
- 複数のインターロックモードをサポート
- 視覚に障がいのある通訳者のための可聴キュー
- 通訳が行われていない場合にフロア信号を配信するための自動フロアモード
- 独立した音量およびトーンコントロール
- "Slow"ボタン
- ボタン上の表示灯
- ロック可能グースネックマイクロホン入力
- 専用の"ミュート"ボタン

- 統合されたラウドスピーカー
- ヘッドホン、ヘッドセット、または外部ヘッドホンインターフェイス用の複数のジャック
- SW6000会議管理ソフトウェアからリモートコントロールが可能

ハードウェア



① ラウドスピーカー	ラウドスピーカーの音量をコントロール
② EQ	ヘッドホンオーディオ用の高音/低音コントロール
③ 音量	ヘッドホン出力レベルをコントロールします
④ 可聴キュー	視覚に障がいのある通訳者のためのヘッドホン可聴キューを切り替えます
⑤ フロアオーディオ	ヘッドホンのオーディオソースとしてフロアを選択
⑥ マイクロホン	マイクロホンのオン/オフを切り替えます
⑦ ミュート	マイクロホンオーディオをミュートするモメンタリボタン

⑧ Slow	SW6000に発言者の会話が速すぎる旨のメッセージを送信します
⑨ 発信チャンネルセレクター	オーディオの発信チャンネルを決定します <ul style="list-style-type: none"> • A：主（ブース）言語 • B：第二通訳言語 • C：第三通訳言語
⑩ ナビゲーション	<ul style="list-style-type: none">  戻る/キャンセル  設定  メッセージ  議題  発言リスト  ホーム
⑪ セレクター	回転させてメニューオプションをハイライトさせ、押して選択します
⑫ 着信チャンネルセレクター	着信オーディオチャンネルを直接選択するためのプログラム可能なボタン
⑬ ディスプレイ	バックライト付きLCD画面
⑭ ヘッドホン/ヘッドセットジャック	通訳リスニング用TRRSジャック
⑮ NFCスロット	NFCカード機能を利用するためのスロット
⑯ USBポート	プリファレンスの読み込みの代替手段
⑰ オーディオジャック	外部ヘッドホンインターフェイスへのTRS出力
⑱ DCS-LANポート	Cat5Eシールドケーブルを接続するための入出力ポート
⑲ マイクロホンコネクタ	Shure MXCグースネックマイクロホン用のロック可能コネクタ
⑳ 統合されたラウドスピーカー	オーディオ再生用（ブースマイクロホンをアクティブにすると自動的にミュートされます）

通訳チャンネルの設定

1. 5つ以上の言語が必要とされる場合は、追加の機能ライセンスを購入してインストールしてください。
2. システムに必要な通訳チャンネルの数を割り当てます： Interpretation > Interpreter Channels。
3. ドロップダウンメニューから各チャンネルの言語を選択します： Interpretation > Language Setup。
4. 対応する通訳者ブースに言語を割り当てます。デフォルトでは、ブース1にチャンネル1が、ブース2にチャンネル2が割り当てられ、以下同様に割り当てられます。 Interpretation > Booth Setup。

通常の動作

- 着信チャンネルセレクター割り当て

使用可能なチャンネルソースを表示するには、チャンネルセレクターボタンを押し続けします。セレクターを回転させて目的の言語ソースをハイライトし、セレクターを押して選択を確認します。このワークフローは、システム管理者によって許可が与えられている場合には、発信チャンネルBおよびCにも適用されます。

注：通訳者は、システムでプログラムされている言語のみをDIS-CCUまたはSW6000から選択できます。

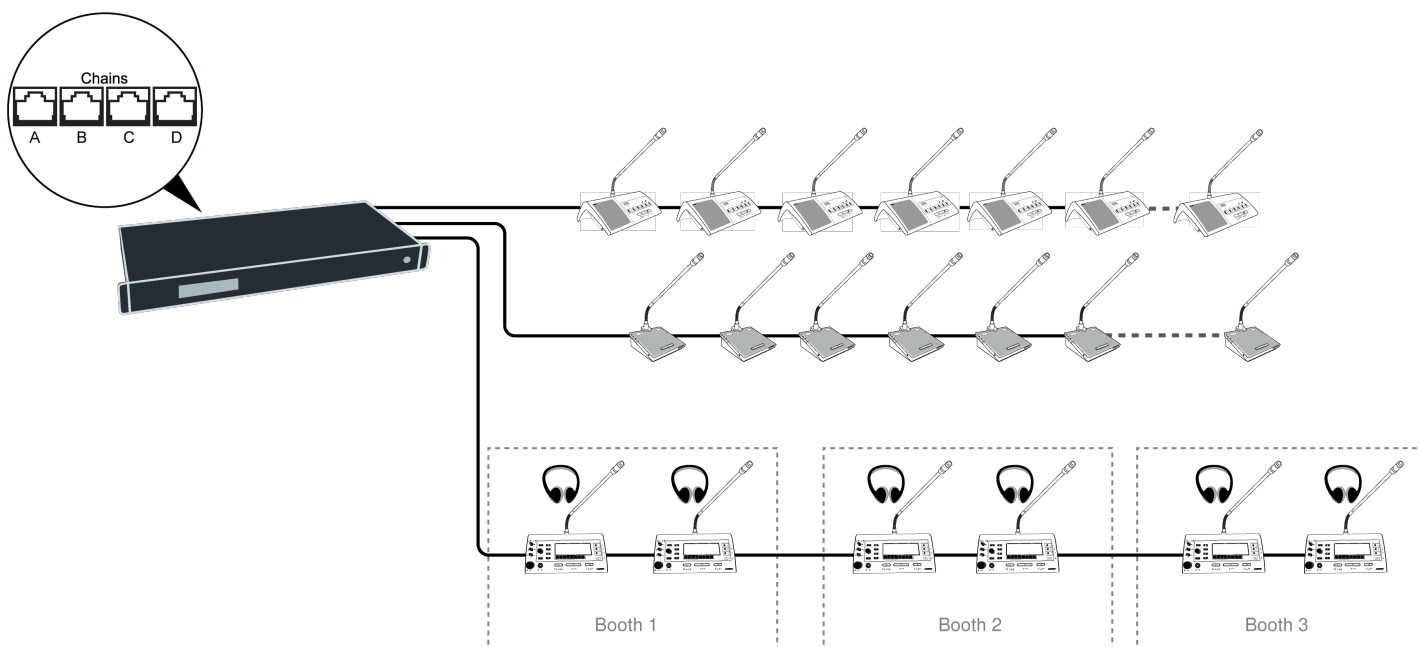
• 音量コントロール

ヘッドホンとラウドスピーカーの音量は、それぞれのボリュームノブを使用して調整します。ヘッドホンの感度は、[Settings] メニューで調整できます。

通訳

会議の同時通訳用に最大31チャンネルを使用できます。MXCIC通訳ユニットは、DIS-CCUから同じDCS-LANネットワークに接続し、独立した言語チャンネルにオーディオを送信します。参加者は、それぞれの会議ユニットに接続されているヘッドホンを使用し、自分の言語で発言を聴くことができます。

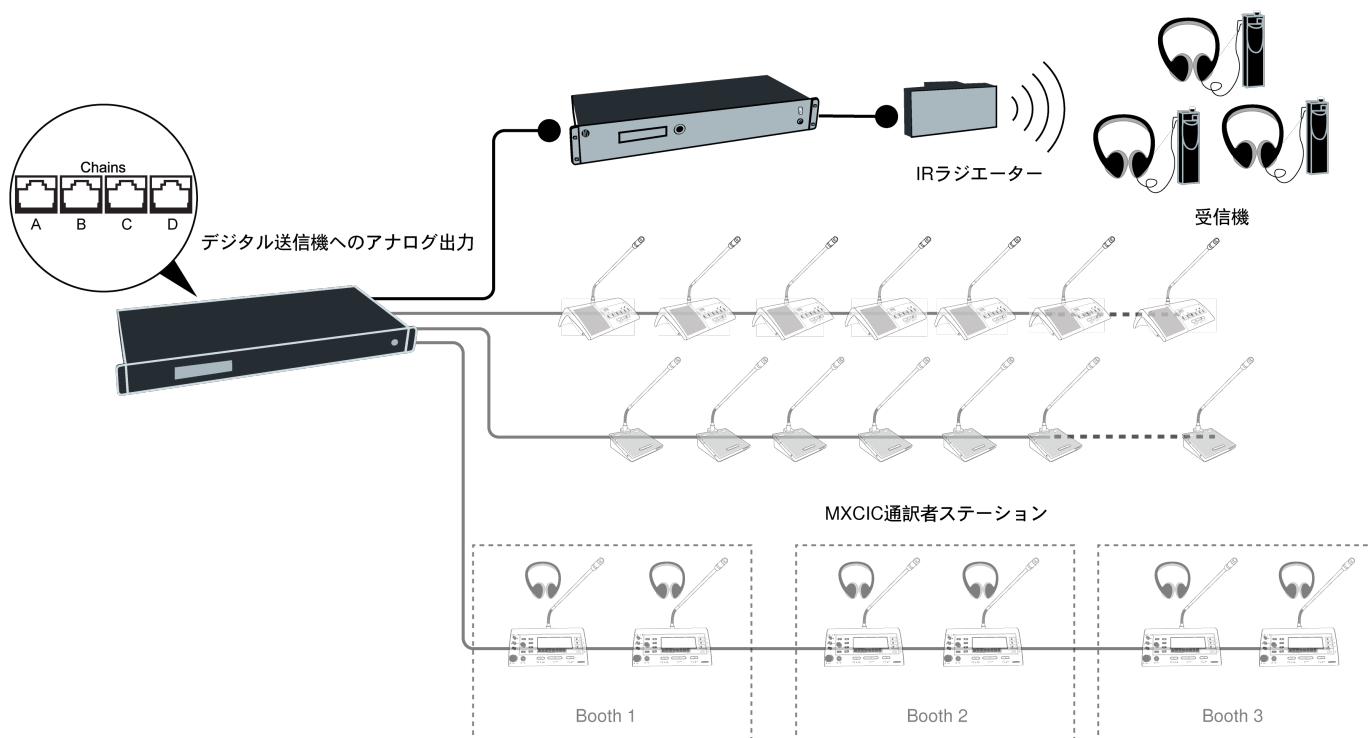
FL6000モードライセンスには4つの言語が用意されており、追加ライセンスによって8、16、または31の言語に拡張することができます。



ワイヤレス言語配信

CCUオーディオ出力のいずれかにワイヤレス言語配信システムを接続することにより、監視アクセス機能を追加できます。ブラウザーインターフェースを使用して、目的の通訳チャンネルやマイクロホンのサブセットをそのグループ出力にルーティングします。

DCS 6000デジタル赤外線言語システムはこの音声信号を多数のポータブルリスニングデバイスに送ります。



ワイヤレス言語配信

送信部

マイクロホンコネクター

Shure Microflexグースネックマイクロホンをユニットに接続できるようにします。

TRS/TRRSコネクター

ミニジャックが通訳者ユニットの左右の側面に配置されており、ヘッドセットやヘッドホンを接続することができます（ヘッドセットを接続すると、接続されたグースネックマイクから自動的にオーディオを切断します）。ミニジャックは、ユニットの底面にも1つ配置されており、外付けヘッドホンインターフェースを接続することができます。

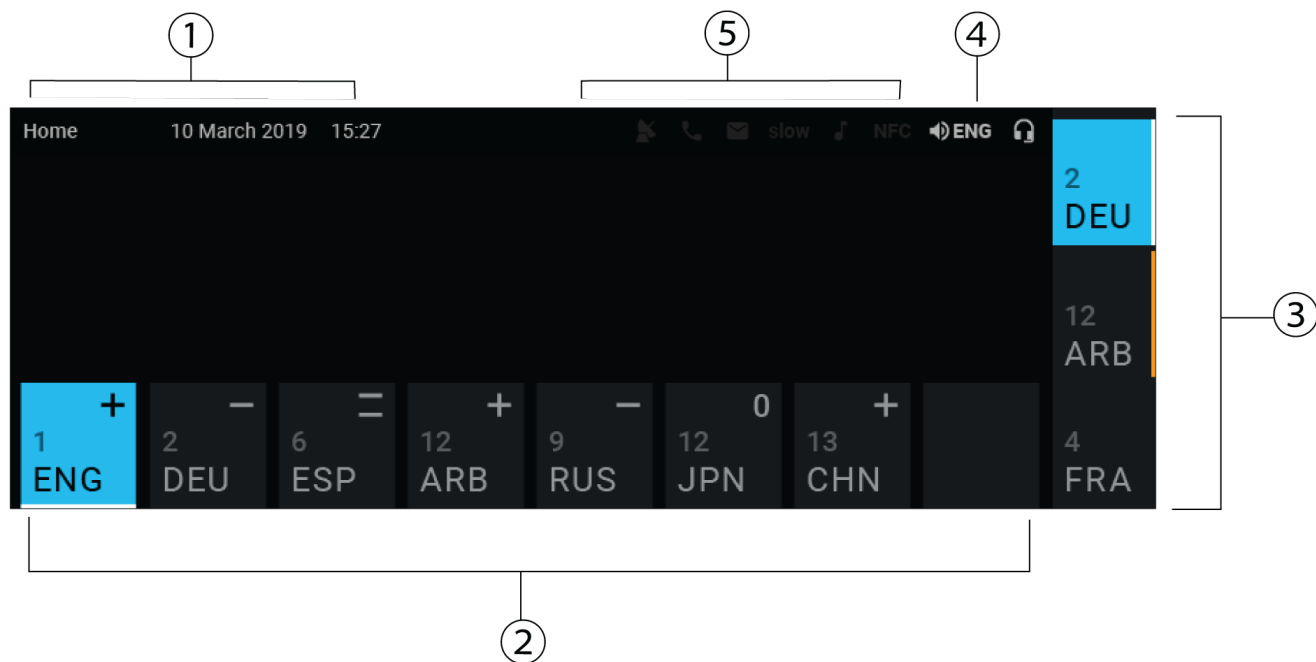
DCS-LANコネクター

2つのRJ45ソケットがコンソールの底面に配置されており、ネットワーク内の他のユニットに接続することができます。

通訳者メニュー画面

ディスプレイの左側にある専用のナビゲーションボタンを使用して、次の画面にアクセスします。エンコーダーノブを回転させて目的の機能をハイライトし、エンコーダーを押してハイライトされたオプションを選択します。[Back] ボタンを使用して、前のメニュー層に戻ります。

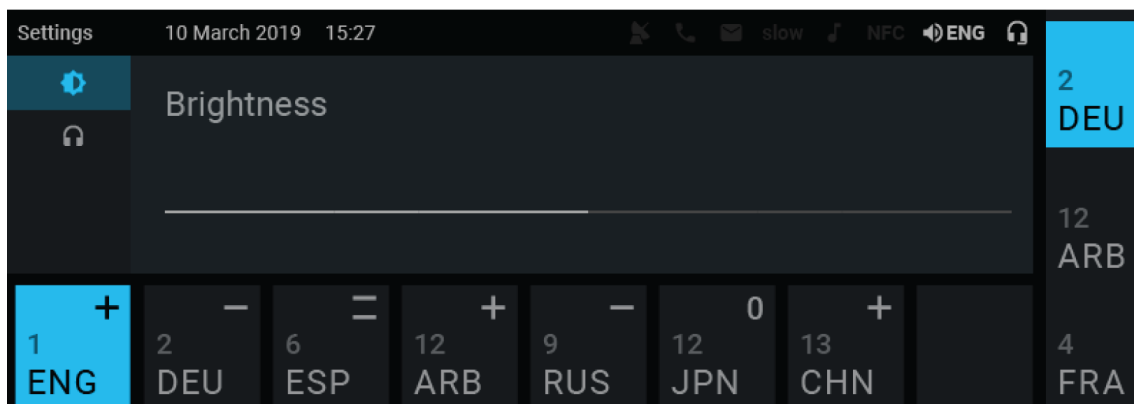
ホーム



[Home] 画面には、次のインターフェイス要素が含まれます。

① 基本情報	現在の画面を識別し、SW6000に接続した日付と時刻を表示します
② 着信チャンネルセレクターラベル	選択した着信チャンネルのチャンネル番号、言語、および通訳品質を表示します
③ 発信チャンネルセレクターラベル	発信オーディオチャンネルのチャンネル番号と言語を表示します
④ ラウドスピーカーチャンネルインジケータ	統合されたラウドスピーカーが設定されているチャンネルを表示します
⑤ 通知	受信メッセージ、ハードウェア接続などを示します

設定



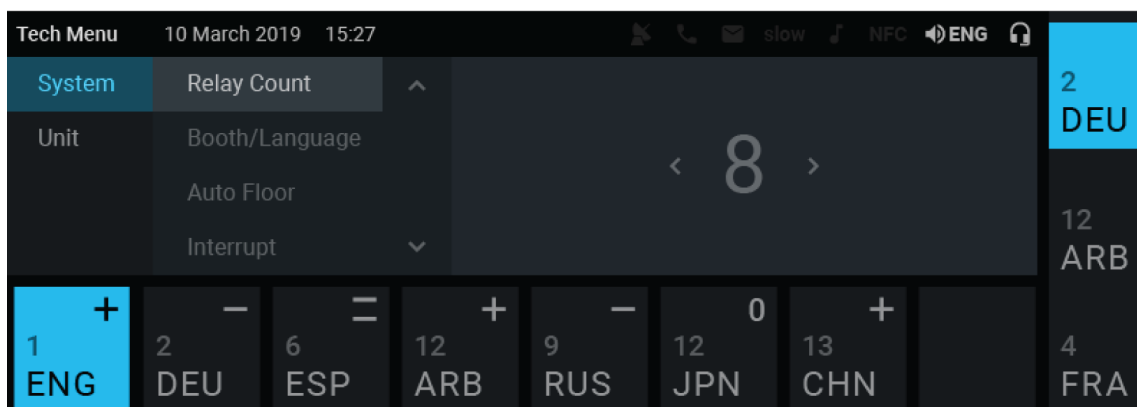
[Settings] メニューから、通訳者は次のオプションとやり取りできます。

- **明るさ**：LCDディスプレイのバックライトを調整します
- **ヘッドホンの感度**：個々のヘッドホンの違いを考慮して、全体のボリューム範囲を調整します
安全上の理由から、感度はデフォルトで [Low] に設定されています

Tech Menu

Tech Menuのシステムとユニットの高度な設定は、2番目の着信チャンネルセレクターとB発信チャンネルセレクターを同時に押すことでアクセスできます。

このメニューは技術者または管理者のみがアクセスするものであり、必要に応じてDIS-CCUからアクセスをブロックすることができます。



[Unit] メニューにはこの画面からアクセスできます。

- **ブース番号**：コンソールが割り当てられているブースを特定します
- **デスク番号**：コンソールが割り当てられているデスクを特定します
- **発信B/C言語**：次のオプションを選択します
 - Not allowed
 - Select from one
 - Select from all

[Select from one] が選択されている場合、その言語は発信チャンネルに対して最初に選択される必要があります
- **フロア切り替え**：[Floor] ボタンは、フロアオーディオと最後に選択したリレーチャンネルを切り替えるように設定することができます
- **発信A/B/Cスイッチ**：マイクロホンがアクティブになっている間に、通訳者が発信チャンネルを切り替えることができるかどうかを選択します
- **単位の統計**：エラーログを表示し、リセットするオプションが利用できます
- **ユニット情報**：バージョン、シリアル番号、およびIPアドレスを表示します

受信言語の選択

通訳を行う際に、通訳者はフロアオーディオまたは他の通訳された言語チャンネルのうちの1つを聞きます。 [FloorFloor] ボタンを押すと、フロア言語が選択され、リレーボタンを押すと、ディスプレイに表示された、事前に設定されている言語が選択されます。ディスプレイに表示されている最初の2つの文字は、チャンネル番号を示し、それに続く3つの文字は、対応する言語を略語（言語リストを参照）で示します。 [Floor] ボタンを押すと、フロアチャンネルが選択され、Floor LEDが点灯します。

リレーチャンネルのいずれかを選択すると、Floor LEDが消灯し、リレーボタンインジケータが点灯し、選択したチャンネルからの着信オーディオがフロアオーディオに切り替わります。

DIS-CCUのチャンネルセットアップメニューで設定されている番号のチャンネルのみが選択でき、表示されます。番号は常に連続になります。

言語リスト

言語	ISO 639-2/B-略語
フロア言語	FLO
アフリカーンス語	AFR
アルバニア語	ALB
アラビア語	ARA
アルメニア語	ARM
アゼルバイジャン語	AZE
バスク語	BAQ
ベラルーシ語	BEL
ベンガリ語	BEN
ブルガリア語	BUL
ビルマ語	BUR
広東語	CAN
カタロニア語	CAT
中国語	CHI
コルシカ語	COR

クロアチア語	SCR
チェコ語	CZE
デンマーク語	DAN
オランダ語	DUT
英語	ENG
エストニア語	EST
フィンランド語	FIN
フランス語	FRE
ガリシア語	GLG
グルジア語	GEO
ドイツ語	GER
ギリシャ語	GRE
ハウサ語	HAU
ヘブライ語	HEB
ヒンディー語	HIN
ハンガリー語	HUN
アイスランド語	ICE
インドネシア語	IND
アイルランド語	GLE
イタリア語	ITA
日本語	JAP
ジャワ語	JAV
カザフ語	KAZ
クメール語	KHA
キルギス語	KIR

韓国語	KOR
クルド語	KUR
ラオス語	LAO
ラトビア語	LAV
リトアニア語	LIT
マケドニア語	MAC
マレー語	MAY
マルタ語	MAL
マラーティー語	MAR
モンゴル語	MON
ネパール語	NEP
ノルウェー語	NOR
パンジャビ語	PAN
ベルシャ語	PER
ポーランド語	POL
ポルトガル語	POR
レートロマン語	ROH
ルーマニア語	RUM
ロシア語	RUS
セルビア語	SCC
シンハラ語	SIN
スロバキア語	SLO
スロベニア語	SLV
スペイン語	SPA
スワヒリ語	SWA

スウェーデン語	SWE
タガログ語	TGL
タジク語	TGK
タミール語	TAM
テルグ語	TEL
タイ語	THA
チベット語	TIB
トルコ語	TUR
トルクメン語	TUK
ウクライナ語	UKR
ウルドゥー語	URD
ウズベク語	UZB
ベトナム語	VIE
ウェールズ語	WEL
ヨルバ語	YOR
その他No.1	N 1
その他No.2	N 2
その他No.3	N 3
その他No.4	N 4
その他No.5	N 5
その他No.6	N 6
その他No.7	N 7
その他No.8	N 8
その他No.9	N 9
その他No.10	N10

その他No.11	N11
その他No.12	N12

発信チャンネルの選択

A、B、Cボタンで発信チャンネルを選択します。ボタンを押すと、以前に選択した発信チャンネルよりも優先されます。Aチャンネルは、システム設定でその通訳ブースの主言語として設定されています。BおよびCチャンネルは、第2通訳言語として選択することができます。

黄色のハイライトは、対応する発信チャンネルが占有されていることを示します。

エラー表示

MXCICとCCUの間の通信エラーがMXCICで表示されます。CCUからの音声データにエラーが多数含まれており、音声を正常に再現できない場合に、最初のエラーのしきい値に到達します。これは、通常の動作表示での黒い四角形、あるいはセットが初期化されていない場合のコミュニケーション表示により示されます。

2番目のエラーレベルに達するのは、フレームエラーレートが事前定義されている上限の値に到達した場合です。この状態が発生した場合、ユニットはエラー発生前のセットの状態にかかわらず、コミュニケーションステータス表示に切り替わります。

エラーステータスは5秒ごとにチェックされ、前回のチェック以降エラーが発生していない場合、MXCICはエラーが検出される前の動作モードに切り替わります。

着信言語の品質表示

リレー言語表示の右側には、ソース通訳の品質が示されています。

- ○：フロアオーディオ（通訳なし）
- +：フロアオーディオの直接通訳
- -：1つのリレー通訳
- =：2つ以上のリレー

通訳チャンネルの実際の品質は常時表示されます。

着信チャンネルがユニット上でアクティブな発信チャンネルと同じ言語に設定されている場合、**S** (Self) が品質表示として表示されます。

電源および構成の要件

Cat5eのFTPまたはSTPケーブルを使用して、MXCICの [IN] ソケットと、前の会議ユニットまたはCCUの [OUT] ポートに接続します。さらに、MXCICの [OUT] ポートをネットワーク内の次の会議ユニットの [IN] に接続します。

ケーブルの長さや電源要件については、<https://dcslan.shure.com> ()で利用可能なMXC電力計算機能を参照してください。

仕様

遅延

マイクロホン入力 ~ ヘッドホン出力	5.5ms
マイクロホン入力 ~ アナログ出力	6.25ms
アナログ入力 ~ ヘッドホン出力	7.25ms

周波数特性

ラウドスピーカー出力	200 Hz - 16 kHz (+0.5/-10dB)
ヘッドホン出力	110 Hz - 16 kHz (+0.5/-3dB)

THD+N

0.2%

デジタル信号処理

24ビット, 32 kHz

極性

ダイヤフラムへの正の圧力により、3番ピンに対して2番ピンに正電圧が生成される (DIS-CCU 出力)

平均故障間隔

>400,000 時間

マイクロホンコネクタ

10ピンゲーソネック

ピンの割当

Shure独自のピン配置

入力コネクタ

アンバランス

出力コネクタ

デュアルモノ (ステレオホンを作動)

ネットワーク接続

DCS-LAN

ACアダプター

DCS-LAN (DIS-CCU, EX6010, PI6000)

電源電圧

20 ~ 48 V

ケーブル要件

Cat 5e以上

NFCキャリア周波数

13.56 MHz

アンテナタイプ

内部NFCループ

NFCカードの適合性

ACOS3デュアルインターフェースと非接触

色

黒色

外装

成形プラスチック, アルミニウム

動作温度範囲

-6.7°C (20°F) - 40°C (104°F)

保管温度範囲

-29°C (-20°F) - 74°C (165°F)

相対湿度

95%

オーディオ出力タイプ

3.5 mmメス型ソケット (x2, デュアルモノ, TRRS) 6.35 mmメス型ソケット (x1, ステレオ, TRS)

寸法

198 x 324 x 96 mm (7.8 x 12.8 x 3.8 インチ) 高さ×幅×奥行き

質量

2250 g (79.4 オンス)

画面タイプ

カラーTFTディスプレイ

画面サイズ

160 mm (6.3 インチ)

ディスプレイ解像度

800 x 240 (134 PPI)

消費電力

典型的	5.5 W
最大	7.0W

受信チャンネル数

最大 32 (31 + Floor)

送信チャンネル数

3 (A/B)

ブースあたりの最大ユニット数

32

最大ブース数

150

最大ユニット数 (総数)

128

音声入力**公称入力レベル**

-60 dBV

最大音声入力レベル

マイクロホン	-1.5 dBV @1% THD
ヘッドセット	-5.5 dBV @1% THD

周波数特性

20 Hz - 16 kHz (+0.5/-10dB)

THD+N

マイクロホン入力	0.04%
ヘッドセット入力	0.07%

ダイナミックレンジ

マイクロホン入力,加重なし	110dB
マイクロホン入力, Aウェイト	112dB
ヘッドセット入力,加重なし	92dB
ヘッドセット入力, Aウェイト	94dB

プリアンプ等価入力ノイズ (EIN)

-115.8 dBV

入力インピーダンス

マイクロホン	26 k Ω
ヘッドセット	2.2 k Ω

音声出力**公称出力レベル**

70 dB SPL 0.5 m位置

最大音声出力レベル

ラウドスピーカー出力	82 dB SPL-A 0.5 m位置
ヘッドホン出力	1.7 dBV

周波数特性

スピーカー出力	200 Hz - 16 kHz (+0.5/-10dB)
ヘッドホン出力	110 Hz - 16 kHz (+0.5/-3dB)

THD+N

ラウドスピーカー出力	<1%
------------	-----

ヘッドホン出力	<0.2%
---------	-------

ダイナミックレンジ

スピーカー出力, 加重なし	92dB
スピーカー出力, Aウェイト	MXCIC = 95dB
ヘッドホン出力, 加重なし	MXCIC = 91dB
ヘッドホン出力, Aウェイト	MXCIC = 93dB

負荷インピーダンス

>8 Ω

重要な製品情報

本機器はプロのオーディオ用途用です。

Shure社によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、この機器を操作する権利が無効になります。

注: このデバイスは公共のインターネットネットワークに直接接続されることを意図していません。

環境E2へのEMC適合: 業務用および軽産業用。テストは、同梱および推奨のケーブル使用に基づきます。シールド（スクリーン）型以外のケーブルを使用した場合はEMC性能が低下します。

本装置はFCC規制第15部に準拠しています。操作は次の2つの条件の対象となります: (1) 装置は有害な干渉を起こさない可能性がある、(2) 装置は、望まない操作を起こす干渉を含む、あらゆる受信干渉を受け入れなければならない。

ユーザー情報

本機器はテストされFCC規定パート15に従いクラスBデジタル機器に適合しますが、制限があります。これらの制限は、住宅地域において設置する際、有害な電波干渉から機器を適度に保護するためのものです。本機器は電磁波を発生・使用し、放射する場合があります。取扱説明書に従って設置しないと無線通信に電波干渉が起こります。また、設置状況に関わらず妨害を引き起こす可能性もあります。本機器によりラジオやテレビの受信に電波干渉が起こるようであれば（これは、機器の電源を一度切ってから入れるとわかります）、次の手段を1つまたは複数用いて電波干渉を防いでください。

- 受信アンテナを別の方向に向けるか、別の場所に移す。
- 機器と受信機の設置間隔を広げる。
- 受信機を接続しているコンセントとは別の回路にあるコンセントに機器を接続する。
- 販売店または熟練したラジオ/テレビ技術者に相談する。

本クラスBデジタル機器はCanadian ICES-003に適合しています。Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

このデバイスは、カナダ産業省ライセンス免除RSS基準に適合しています。本装置の操作は次の2つの条件の対象となります：(1) 装置は干渉を起こしてはならない、(2) 装置は、望まない操作を起こす干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければならない。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

警告:

操作は以下の条件の対象となります：(1) 装置は有害な干渉を起こしてはならない、(2) 装置は、望まない操作を起こす干渉を含む、あらゆる受信干渉を受け入れなければならない。

これらの制限は、機器を一般家庭、商用、または軽産業に使用したときに有害な干渉から適切な保護を提供するためのものです。本機器は電磁波を発生、使用または放射する場合があります。取扱説明書に従って設置して使用しないと、無線通信に有害な妨害を引き起こす可能性があります。

居住地域での本機器の操作は有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは自己費用で干渉を修正する必要があります。コンプライアンスに責任を負わない者による変更や改造は、意図的か否かを問わず、行ってはなりません。そのような変更や改造は、ユーザーの装置を使用する権限を無効にする場合があります。

必要に応じて、販売店や経験豊富なラジオ/テレビ技術者に問題解決を依頼してください。ユーザーにとって、連邦通信委員会が作成した以下のパンフレットが役に立つ場合があります：「How to identify and Resolve Radio-TV Interference Problems (ラジオ・テレビの干渉問題の確認と解決方法)」このパンフレット (ストック番号 004-000-00345-4) は、米国政府印刷局 (Washington, DC 20402) から入手できます。

警告:これはクラスA製品です。この製品は室内環境において無線干渉を起こす場合があります、ユーザーが適切な対応をとらなければならないことがあります。

適合性

本機器は、クラスAデジタル装置に関する以下の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。

- EN55103-1 (放射)
- EN55103-2 (電磁波耐性)
- FCC規格パート15、クラスA (放射)
- カナダ産業省のICES-003
- IEC 60065

認証

本製品は、関連するすべての欧州指令の基本的要件を満たし、CEマークに適合しています。

CE適合宣言書は以下より入手可能です：www.shure.com/europe/compliance

ヨーロッパ認定代理店：

Shure Europe GmbH

ヨーロッパ、中東、アフリカ地域本部：

部門：EMEA承認

Jakob-Dieffenbacher-Str.12

75031 Eppingen, Germany

TEL：+49-7262-92 49 0

FAX：+49-7262-92 49 11 4

Eメール：info@shure.de